

1.研修プログラムの名称

乳腺科研修プログラム

2.研修概要（理念・特徴）

日本の女性の乳癌罹患率は増加の一途をたどり、本邦での乳癌に対する医学的さらには社会的関心の高まりは、自然の成り行きと云える。当科はその時代のニーズに呼応する形で誕生した。今まで第一外科、第三外科双方で独自に行われてきた乳癌を中心とする乳腺疾患の診療を、臓器別という枠組みで再編成統合され、東京医科大学病院乳腺科は、平成 17 年に新たに開設された診療科である。

当院に於ける年間の原発性乳癌手術症例数は毎年 250 例を超え、都内にある大学病院でも有数である。豊富な症例数を背景に、的確な早期診断と世界標準の治療を踏まえた上で、患者ひとりひとりに最もふさわしい「テーラーメード」治療を心がけている。また、さらに整容性の高い手術を行うために形成外科との密接な協力体制をとっており、乳房再建の提供にも努めている。

疾患的特徴ともいべき多くの進行再発乳癌に対しても、治療の方向付けをするという大学病院の使命から、化学療法、分子標的療法、内分泌療法、放射線療法、レーザー治療、疼痛コントロールなど、積極的に診療に取り組んでいる。更に進行・再発患者の緩和医療も、科内に緩和ケアチーム兼任医師が従事しており、院内緩和ケアチームとともに力を入れている。

研究では、多くの全国規模の臨床試験に参加し、病理部と連携してトランスレーショナルリサーチにも取り組んでいる。

3.一般目標

ホルモン標的臓器で、女性にとってかけがいのない乳房について、その構造、機能、重要性を理解した上で、乳癌をはじめとした乳腺疾患の病態を理解し、最新の診断、治療を修得すると同時に、ひとりの人間として患者と向き合う医師の基本姿勢を修得する。

4.具体的目標

- 1) 経験すべき診察法・検査・手技
 - 1.胸部の診察（乳房の診察を含む）ができ、記載できる
 - 2.細胞診・病理組織検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
 - 3.超音波検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
 - 4.単純 X 線検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
 - 5.X 線 CT 検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
 - 6.MRI 検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
 - 7.圧迫止血法を実施できる
 - 8.注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保）を実施できる
 - 9.穿刺法（胸腔・腹腔）を実施できる
 - 10.ドレーンチューブの管理ができる
 - 11.創部消毒とガーゼ交換を実施できる
 - 12.簡単な切開・排膿を実施できる
 - 13.皮膚縫合法を実施できる
- 2) 経験すべき症状・病態・疾患
 - 14.浮腫を診察し治療に参加できる
 - 15.リンパ節腫脹を診察し治療に参加できる
 - 16.関節痛を診察し治療に参加できる
 - 17.四肢のしびれを診察し治療に参加できる
 - 18.不安・抑うつを診察し治療に参加できる

19.呼吸不全を診察し、治療に参加できる

20.女性生殖器およびその関連疾患（乳腺腫瘍）を診察し、治療に参加できる

3) 全科共通項目

21.診療録（退院サマリーを含む）をPOSに従って記載し管理できる

22.処方箋、指示箋を作成し管理できる

23.診断書、死体検案書、紹介状、その他の証明書を作成し管理できる

24.保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ診療計画を作成できる

5.指導体制・方略

研修はおもに病棟において行う。診療科長または指導医、後期研修医とともに毎日回診し、直に患者に接する。看護記録なども参考に患者の経過、全身状態をカルテに記載する。

入院患者の手術および術前術後管理、ベッドサイドでの処置、全身化学療法、ホルモン療法、放射線療法などの実際を体験・理解する。

なお本プログラム研修中、院内緩和ケアチームの回診、カンファレンスにも参加が可能である。

6.週間予定表

	月	火	水	木	金	土
AM	病棟回診 08:30	08:00～ 再発症例検討 (7階)	07:30～ 術前術後検討 (人体病理室) 手術	病棟回診	08:00～ 入院患者検討 (18東) 手術	病棟回診 局所麻酔 手術（中央分室）
PM			手術		手術	
	病棟回診	病棟回診 術前カンファレンス 準備	緩和ケア回診 緩和ケアカンファ	病棟回診	病棟回診	
18:00 ～	説明会 (10階)					

7.研修活動

8.評価

1) 自己評価

患者記録表、教育的行事の参加記録並びに経験記録表に記録する

EPOCを用いて自己評価を行う

研修事後レポートを用いて自己評価を行う

2) 指導医による評価

EPOCを用いて評価する

研修事後レポートより評価する

他者評価表を用いて評価する

研修終了時に試験を行い、振り返りをおこなう

3) コメディカルによる評価

EPOC又は評価表を用いて評価する

他者評価表を用いて評価する

4) 研修医による評価

EPOC を用いて指導医（上級医）、診療科・病棟、研修医療機関、プログラムを評価する

評価表を用いて指導医並びにコメディカルを評価する

9.その他特記事項

研修中に実地臨床での修得と併行し、乳腺疾患の手術、診断、治療に関する論文、書籍を適宜参考にされたい。本学の「自主自学」の理念に基づいて学習し、乳腺科研修が将来役に立つように専心して頂きたい。

代表的な乳腺疾患の診断・治療のガイドラインを理解している

なお本プログラム研修中、院内緩和ケアチームの回診、カンファレンスにも参加が可能である。院内の横断的なチーム医療に参加・経験することで、その活動の理解を深めることをめざす。